

海の月間イベント

「川崎港を見てみよう！ 外航船見学会」を実施しました

～子どもたちが大型自動車専用船に乗船～

海の月間※を記念して、令和 7 年 7 月 29 日、市内の子どもたち（麻生区内の小学校 2 年生から 5 年生までの児童 35 人）を対象に、川崎港の外貿ふ頭で荷役を行っている大型の自動車専用船に体験乗船する見学会を実施しました。

この見学会は、将来を担う子どもたちに国際物流の現場を体験してもらうことにより、貿易や海運に対する関心を高めてもらうことをねらいとしています。

※ 「海の月間」（7/1～7/31）には、広く国民に「海」に対する理解と認識を高めてもらうために、全国各地で海に関するさまざまなイベントが行われています。

1 見学会の概要

- （1）実施日 令和 7 年 7 月 29 日(火) 13 時 20 分～15 時 30 分
- （2）参加者 麻生区内の小学校 2 年生から 5 年生までの児童 35 人（引率者除く）
- （3）内 容 自動車専用船「GREEN WAVE」に乗船
（日本郵船株式会社様（東京都千代田区丸の内 2-3-2）に御協力いただきました。）

2 自動車専用船「GREEN WAVE」について

- （1）船 名 GREEN WAVE
- （2）建造年 2024 年
- （3）全 長 199.9m
- （4）積載可能台数 6800RT
- * 1 RT = 車長 4.125m x 車幅 1.550m x 車高 1.420m
- * RT とは、乗用車 1 台分の寸法を表した単位



3 見学会の様子

船を案内する日本郵船(株)の方々とともに、船の前で記念撮影。



荷役の支障にならないよう、一列になって船の中へ移動します。

※荷役（にやく）：貨物の積み降ろし作業のこと



自動車の積み込み作業を見学。



ブリッジでは、船長さんと交流、英語で質問しました。

子どもからの「なんで船員さんになったんですか？」という質問に対して、「面白いことが好きだから」と答えていただきました。



船長さんに、英語でお礼を伝え、記念品のプリザーブドフラワーを贈りました。



日本郵船(株)の方々に船や船舶の機器について教えていただきました。

子どもたちは、荷役作業の技術を見たり、船長が船乗りになるまでの話や船での生活の話を聞くなど、海の仕事への興味と関心、知識を深めることができました。自動車専用船「GREEN WAVE」は川崎港での積み込み後、常陸那珂を經由して、北米に向けて出港します。

参加した子どもたちは、自動車専用船の見学以外にも、川崎マリエンにて、海の仕事について勉強をしたり、川崎港のマスコット「川丸君」と交流したりしました。



川崎マリエンで海の仕事について質問



川崎マリエンで川崎港のマスコット「川丸君」と交流

4 参加した子どもたちの感想

今回の見学会に参加した子どもたちからは、次のような感想が寄せられました。

- ・「船は重いはず。浮かんでいるのは不思議に思いました。」
- ・「船長さんも働いている人もかっこよかった！」
- ・「船がかっこよくてびっくりしました。あまりの大きさに腰をぬかすところでした。」

5 川崎港の概要

川崎港は「国際戦略港湾（国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港）」に指定されています。

令和6年の輸出額は1兆2,692億4,400万円、輸入額は2兆8,741億6,100万円です。取扱貨物は主にLNG、原油などの燃料のほか、完成自動車などがあります。

6 完成自動車の輸出について

川崎港では、完成自動車（新車および中古車）の輸出量は全体の35.7%（令和6年157万トン）を占めています。（速報値）

主な輸出先はアメリカ（57.7%）、カナダ（20.1%）、ジャマイカ（18.1%）となっております。

問合せ：川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課 渡邊
電 話 044-200-3072